

平成30年(2018年)度 県立歴史館の活動計画(目標)

基本目標	基本目標に対する取組	平成30年度		平成29年度 主な事業及び達成値	備考
		主な事業	目標値		
長野県民の歴史遺産を子孫に継承するための取組をします	埋蔵文化財、文献史料・歴史資料等を収集し、調査研究を行います	○ H31年度企画展(25周年記念事業)の資料調査	・各企画展の基本設計の作成 ・展示資料の確定	・夏季企画展「君は河童をみたか」、秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石」、冬季展「田淵行男」の資料調査および基本設計を作成した。 ・各企画展の展示資料を確定した。	市町村教育委員会、埋蔵文化財センターと共同して調査を進めるとともに、テーマ展示として「黒曜石」と「象嵌装大刀」の調査研究を行った。 H30年度開催予定の秋季企画展「黒曜石」に関わる下準備となる調査を行うことができ、今年度はそのプレ展示となった。 ※「平成29年巡回展」を開催。 歴史館 3月18日～6月25日(75日間:12,066人) 南信会場 7月29日～8月20日(20日間:1,146人) 中信会場 8月26日～9月24日(26日間:944人) 東信会場 9月30日～11月26日(48日間:955人) 満足度80%
		○ 平成30年巡回展「遺跡発掘2018」、平成31年巡回展「長野県の考古学」の資料調査、共催機関との打ち合わせ	・各連携機関と企画・テーマをすりあわせ、広報等の充実をはかる。打ち合わせは各連携機関とも年5回程度実施 ・1ヶ月開催で来館者約1,000人を目指す	・市町村教育委員会、埋蔵文化財センターと共同して調査を進めるとともに、テーマ展示として「黒曜石」と「象嵌装大刀」の調査研究を行った。 H30年度開催予定の秋季企画展「黒曜石」に関わる下準備となる調査を行うことができ、今年度はそのプレ展示となった。 ※「平成29年巡回展」を開催。 歴史館 3月18日～6月25日(75日間:12,066人) 南信会場 7月29日～8月20日(20日間:1,146人) 中信会場 8月26日～9月24日(26日間:944人) 東信会場 9月30日～11月26日(48日間:955人) 満足度80%	
		○ 文献史料の収集・整理・保存	◇ 行政文書、県報、行政資料 ・新規行政文書(年間約数百冊)の目録作成 ・県報、行政資料の整理 1,000点以上 ・公開・非公開判定(判定見直しを含む) 1,000点以上 ・未整理現代資料等の整理を進める。 ◇ 古文書 ・新規史料の収集 3,000点以上 ・未整理史料整理 7,000点以上 ・公開 5,000点以上	◇ 行政文書、県報、行政資料 ・新規収集資料の選別・収集の完了 行政簿冊279冊、県報130件、行政資料985点 ・県報、行政資料の整理 県報130件、行政資料985点 ・未整理行政文書の整理を進める。 行政文書の金属除去等整備 3,473点 行政文書の公開非公開判定の実施 804冊 行政文書の目録作成 242冊 所蔵資料の再確認(目録照合・修正)	
		○ 考古資料の保存処理	・収納木製品の保存処理(1,000ポイント) (PEG槽へ投入、濃度アップ、取り上げそれぞれ1回の作業を1ポイント扱いとして換算) ・写真資料の保存(フィルムのデジタルデータ化)は35ミリポジフィルム年間8,000枚を実施する。 ・金属製品に関しては依頼に対応する	・収納木製品の保存処理 1,600ポイント ・写真資料の保存(デジタル化) 1,100枚 高画質のデジタル化により1枚あたりの単価が高くなってしまった。 ・金属製品の依頼対応 100%対応	
	○ 館設定研究テーマの調査・研究	・市町村教育委員会と黒曜石研究会を実施する。 テーマ「信州黒曜石文化の研究」 回数 年2回 内容 黒曜石原産地とそれに関わる遺跡の実態解明成果展示 H30年企画展にて展示 H31年以降、関連市町村での巡回展示 ・市町村教育委員会と城郭・城下町研究会を年1回実施し、県外研究者との意見交換を行う。	・「信州黒曜石文化研究会」を2回開催 研究成果をH30の秋季企画展で展示、公開することとした。 ・「黒曜石原産地保有市町村等連絡協議会(県教委文化財・生涯学習課)」と「黒曜石フォーラム会議(明治大学)」に参加し、共同研究の提案と意見交換を行った。 ・「長野県近世城郭・城下町研究会」を2回開催 10月 県内所在城郭の調査研究成果の発表 松本城関連の発掘現場の見学 3月 今後の研究活動についての意見聴取		
	史資料の保護・活用に取り組み、保護思想を啓発します	○ 史資料の保存等に関する市町村への協力・支援	・依頼事項の90%以上	・赤外線観察=4件(12点) X線透過撮影観察=6件(72点) 依頼100%対応 ・松田館火災に伴う松田家資料の救出作業協力 考古学的手法を活用し、計画的な資料救出が実践できた。 救出作業 2日実施(当館職員参加者数 延べ16人)	
		○ 文献史料保存活用講習会の開催	・開催 年3回 参加者100人(前年並み) ・満足度 80%	・3回開催 参加者数123人	
		○ 考古資料保存処理講習会の開催	・開催 年1回 参加者20人	・1回開催 参加者23人 満足度100%	
		○ 防災・災害の対応	・事例研究や他県の体制・対応を参考に研究を進める。 ・地震・台風等による被害の把握と支援の要不要確認(県博物館協会)	・第2回史資料保存活用講習会で「災害と資料保全」をテーマに取り上げ、県内外の報告を行った。	
		○ 常設展の工夫	・関係機関との連携 信大繊維学部 ・観覧者数 前年比85% (1か月半の休館のため) ・満足度 80%	・ピーコンによる展示解説の実証実験(信州大学工学部) 期間 9月20日～3月29日 利用者数 28名 ・観覧者数 37,720人 (H28 39,850人、前年度比 94.7%) 満足度 93.2%	
○ 企画展の開催		・観覧者数 前年比85% (1か月半の休館のため) ・満足度 80%	・観覧者数 25,780人 (H28 32,199人 前年度比 80.1%) 満足度 93.4%(H28 91.5%) ※企画展等別 ・巡回展「長野県の遺跡発掘2017」(4/1～6/25) 75日 12,066人 満足度 90.6% ・夏季企画展「長野県誕生! -公文書・古文書から読みとく-」 (7/8～8/28) 46日 3,089人 満足度 88.4% ・秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもよう」と区画もよう～」 (9/16～11/26) 61日 7,727人 満足度 96.6% ・冬季展「田中芳男-「虫捕御用」の明治維新」 (12/16～2/25) 54日 2,292人 満足度 96.6% ・巡回展「長野県の遺跡発掘2018」(3/17～3/31) 27日 606人 満足度 90.1%		
未来を映す歴史知識の泉としての役割を果たします	○ (新)ミニ展示の開催	・「県歌50年」「信州の野球史」の開催	・学芸研究会での研究発表(18件) ・研究紀要、ブックレット、歴史館版信州学などの執筆のための調査・研究を実施 内訳 研究紀要11件 ブックレット35件 歴史館版信州学 27件		
	○ 個別研究の実施	・学芸部職員 1人1研究	・福井県や山梨県等の博物館視察等を通して基本構想を検討し、展示業者の協力を得てレイアウト案を策定した。		
	○ 親子歴史ふれあいコーナーの設置準備	・設置箇所等の選定 ・H31年度の基本設計委託に向けた準備	・25回開催 受講者 延べ874人(197人) 講座出席率 88.7% 満足度 98% ・4回開催 受講者 延べ75人(19人) 講座出席率 99% 満足度 100%		
	県民の生涯学習を支援します	○ 古文書講座の開催	・開催 年25回 受講者900人 ・満足度 80%	・考古学講座 4回開催(受講者数345人) ・探訪会 1回(参加者数42人) 満足度 95%	
		○ ティーンズ古文書講座の開催	・開催 年4回 受講者10人 ・満足度 80%	・やさしい信濃の歴史講座 7回開催 受講者925人 満足度 93.1% ・歴史館ふるさと講座の開催 5回開催 受講者数883人 満足度 89.4%	
		○ 考古学講座の開催、探訪会の実施	・講座 開催 年4回 受講者300人 ・探訪会 実施 年1回 参加者40人 ・満足度 80%	・夏季企画展 講演会1回、講座1回、イベント1回 受講者計309名 講演会・講座 満足度 92.4% ・秋季企画展 講演会1回、講座5回、イベント4回、 ギャラリートーク2回 受講者計885名 講演会・トークセッション 満足度 91.3% ・冬季展 講演会2回、講座1回、イベント1回 受講者計497名 講演会・講座 満足度 95.4%	
		○ (新)「県立歴史館の信州学講座」の開催 「やさしい信濃の歴史講座」と「歴史館ふるさと講座」を統合	・開催 前期4回 後期5回 受講者900人 ・満足度 80%	・『信州を学ぶ 足元を探る編 日常生活からひもとく信州』3月刊行	
	○ 企画展・季節展等講演会の開催	・開催 年5回 受講者500人 ・満足度 80%			
	○ 信州学テキストの刊行	・年1冊の刊行			

基本目標	基本目標に対する取組	平成30年度		平成29年度 主な事業及び達成値	備考
		主な事業	目標値		
未来を映す歴史知識の泉としての役割を果たします	県民の生涯学習を支援します	○ 関係機関(他団体)との連携	<ul style="list-style-type: none"> 博物館・美術館との連携した講座を開催する(年3回)。 長和町、明治大学(黒耀石研究センター)と連携し海外からの研究者等を招致し、シンポジウム等を開催する。 田淵行男記念館との連携による企画展の開催 (新)近隣県立博物館との連携協定の締結 1博物館 考古学セミナー(県考古学会共催) 年2回 近世史セミナー(信濃史学会、信州近世史セミナー共催) 年1回 「歴史館パートナーの日」の開催(H29～) 年2回 県博物館協議会HPは本年度運用1年目。一般アクセス年間20,000件。 	<ul style="list-style-type: none"> 連携講座 飯田市美術博物館 1回 受講者集20人 豊科郷土博物館 2回 受講者数136人 講師招聘「やさしい信濃の歴史講座」安曇野市と飯田市の学芸員を講師として招聘 考古学セミナー 6・3月開催(受講者数122人) 満足度 100% 近世史セミナー 12月開催(受講者数131人) 「KOAの日」開催 12月16日 HPアクセス数 24,639件 	
		○ 出前巡回講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> 「県立歴史館の信州学講座」の上田市、箕輪町、諏訪市、松本市、飯田市で開催(年5回) 「長野県の遺跡発掘2018」の伊那市、塩尻市、御代田町での巡回展開催に合わせた講演会等の開催する。 上記以外の出前講座 開催数90回 参加者数8,000人 	<ul style="list-style-type: none"> やさしい信濃の歴史講座 4回開講 受講者計299人 (上田市43人、箕輪町68人、諏訪市(新規)113人、松本市75人) 長野県伊那文化会館(伊那市) 講演1回27人、展示解説2回13人 安曇野市豊科郷土博物館(安曇野市) 講演2回136人、展示解説2回23人 浅間縄文ミュージアム(御代田町) 講演1回60人、展示解説1回6人 計 講演4回223人 展示解説5回42人 満足度50% 100回 延べ参加者7,891名 (平成28年度121回9,532人、平成27年度74回4,278人) 	
		○ おでかけ歴史館事業の実施(H29～)	<ul style="list-style-type: none"> 下伊那・木曾地域で公民館5件実施(事業周知のため公民館職員等へのデモ活動も含む。) 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館等に事業周知のためチラシを配布したが、希望がなく、実施には至らなかった。 	
学校教育を支援します		○ 効果的な展示利用方法の開発	<ul style="list-style-type: none"> 常設展示用学習シート(小学校)を活用したプログラムの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート(歴史館まなび隊・学習シート) 利用校145校 (利用率53.6%) 	
		○ 学校見学時の展示解説の実施	<ul style="list-style-type: none"> 希望校100%実施 	<ul style="list-style-type: none"> 希望校受入率 100% 実施学校数259校 	
		○ 学校見学時のバックヤード探検の実施	<ul style="list-style-type: none"> 希望校の90%以上の受入 	<ul style="list-style-type: none"> 希望校受入率 96.6% 実施学校数202校 (見学時間重複等でお断りした学校数7校) 	
		○ 博物館実習・職場体験学習の受入	<ul style="list-style-type: none"> 希望者の90%以上の受入 	<ul style="list-style-type: none"> 希望者受入率 100% 博物館実習10人、県庁インターンシップ2人中・高生職場体験 14校44人 	
		○ 教員研修への協力、実施	<ul style="list-style-type: none"> 希望者の100%の受入 	<ul style="list-style-type: none"> 希望者受入率 100% 教材研究研修(県総合教育センター) 17人 免許更新講習(信州大学) 3回 計142人 	
		○ 出前授業(講座)の実施	<ul style="list-style-type: none"> 実施25回 参加者1,000人 	<ul style="list-style-type: none"> 22回 延べ参加者818人 	
		○ おでかけ歴史館事業の実施(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> 下伊那・木曾地域で20回(1クラスを1回)実施(事業周知のため教職員へのデモ活動も含む。) 	<ul style="list-style-type: none"> 6校19学級 494人に実施 	
歴史情報を提供します		○ 史資料の閲覧	<ul style="list-style-type: none"> 整理が終了した古文書等の公開をすすめる。公開した情報は、ホームページ、ブログ等に掲載、周知する。 ブログ更新 6回(2ヶ月に1度) 	<ul style="list-style-type: none"> 整理が終了した古文書等の公開 整理を終えた古文書群は直ちに公開手続きを取り、ホームページ上でその都度データ更新をおこなった。(公開件数10,198点、公開度数100%) 古文書公開ブログを10回更新し新資料の情報を県民に積極的に公開した。 	
		○ ホームページによる情報提供	<ul style="list-style-type: none"> アクセス数(年間 72,000件) ホームページ上で、地図・企画展等の情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> アクセス数 83,979件 ブログ更新 38回 	
		○ 歴史館情報のマスコミへの周知	<ul style="list-style-type: none"> 信濃毎日新聞社「しなの歴史再現」への連載 企画展、講座等の情報発信(新聞、情報誌等への掲載) 	<ul style="list-style-type: none"> コラムしなの歴史再現(信毎) 50回 新聞イベント欄、新聞有料広告、雑誌・情報誌、ラジオ、ケーブルテレビ、有線放送等で情報発信 	
		○ ケーブルテレビによる主催講座の発信	<ul style="list-style-type: none"> 提供講座数 9(信州学講座) 		
楽しむ場・憩いの場・交流の場としての役割を果たします	参加して楽しむ場、憩える場とします	○ 体験イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史館でこどもの日」「歴史館で夏休み」「森將軍塚まつり」「いい育児の日」での開催 出前イベント「縄文人になろう」を実施する。(各会場で100人以上の体験を目標) 	<ul style="list-style-type: none"> 館内 3回実施 5月5日 「歴史館でこどもの日」(175人) 8月5日 「歴史館で夏休み」(77人) 11月3日 「森將軍塚まつり」(572人) 計824人 館外 1回実施 7月26日「夏休み県庁見学イベント」(50人) 8月20日「伊那文化会館こどもまつり」(380人) 	
		○ 古文書愛好会の育成と活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 活動者数 600人(延べ) 例年並み 館蔵文書を読む会の成果本1冊刊行 	<ul style="list-style-type: none"> 入会率 26.2% (入会者49人/受講者187人) 参加者数 延べ772人 ※活動内容 <ul style="list-style-type: none"> 館蔵文書を読む会 7回開催 参加者数37人(延べ215人) 古文書探訪会 参加者数28人 古文書演習(H29年度より活動日数を増やした) 夏季 7回 参加者数35人(延べ151人) 冬季 18回 参加者数29人(延べ378人) 	
		○ 運営サポートボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> 展示解説・体験ボランティアの募集・養成を行い、イベント運営への活用を進める。 常設展示解説等館運営ボランティアの積極的な活用を図る。 (新)ボランティアルームの設置 (新)ボランティアと職員の意見交流会を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 募集 歴史館HP、チラシ(千曲市回覧、当館設置) 新規登録者 3人 ボランティア研修 5回 受講者数延べ 46人 解説ボランティア (解説者延数241人、利用者数1,243人) 日曜解説 毎日曜日、学校・団体への解説 17回 体験ボランティア(延数94人) こどもの日、夏休み、森將軍塚まつり、クリスマスリース作りで活動 作業ボランティア(延数23人) 木器処理作業 	
○ 利用者アンケートの活用	<ul style="list-style-type: none"> 来館者アンケートの意見を反映する。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート回答率 2.2% (前年度 1.2%) 			